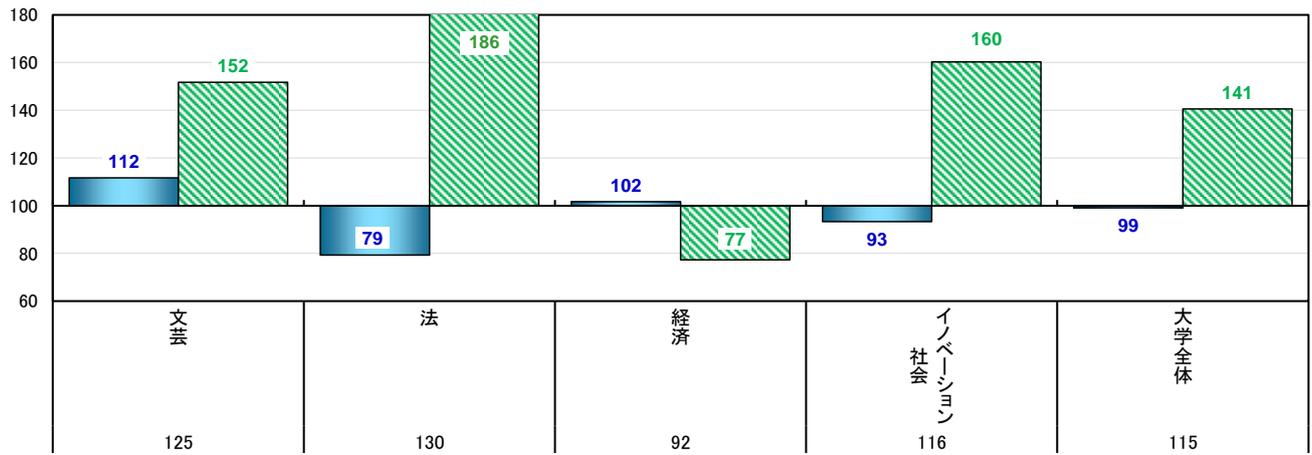


成城大：大学全体では4年ぶりに大幅増加、特に共テが40%以上の大幅増加 一般：-71人 共テ：+2,094人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■共テ利用方式



主な入試変更点

選抜方法：文芸…〈共テ・後期B方式〉新規実施
 入試科目：経済〈共テ・前期B方式〉…英(リーディング)のみ→英(リーディング)と英(リスニング) ※英にリスニング追加
 配点変更：社会イノベーション〈共テ・前期B方式〉…国<100>+外<200>+(歴公 or 数① or 数② or 理 or 理基2)<100>=総点<400>
 →国<150>+外<300>+(歴公 or 数① or 数② or 理 or 理基2)<150>=総点<600>

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3年連続減少の反動で2,023人(115)の大幅増加し、4年ぶりに増加。学部別では、経済(92)を除く3学部はいずれも大幅増加。方式別では、一般方式は71人(99)の微減だが4年連続減少。共通テスト利用方式は2,094人(141)の40%以上の大幅増加。文芸〈共テ・後期B方式〉の新規実施と、3年連続減少の反動が要因。文芸〈共テ・後期B方式〉を除いても(135)の大幅増加。

<一般方式>

- 文芸(112)は、3年連続減少の反動で増加。学科別では、6学科全てが増加。特に、(文化史)(127)、(ヨーロッパ文化)(115)は大幅増加で、いずれも3年連続減少の反動。(マスコミュニケーション)(105)は、前年度大幅減少の反動でやや増加。2018年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 法(79)は、前年度3年ぶりに大幅増加したが、反動で大幅減少。方式別では、全学部の〈S方式〉(134)は大幅増加、学部別の〈A方式〉(68)は大幅減少と対照的。いずれも前年度の反動による増減。
- 経済(102)は、微増だが3年ぶりに増加。学科別では、2学科とも微増。(経済)(102)は4年ぶりに増加。
- 社会イノベーション(93)は、前年度やや増加の反動は小さくやや減少に留まった。学科別では、(政策イノベーション)(110)は、3年連続減少の反動で増加、志願者数は1,200人を上回った。一方で、(心理社会)(77)は前年度大幅増加の反動で大幅減少と対照的。志願者数は1,000人を下回った。方式別では、全学部の〈S方式〉(136)が大幅増加、一方で学部別の〈A方式2教科〉(69)が大幅減少。

<共通テスト利用方式>

- 文芸(152)は、〈共テ・B方式後期〉の新規実施と、3年連続減少の反動で50%以上の大幅増加。学科別では、6学科全てが大幅増加。特に(国文)(186)、(英文)(180)は激増。(ヨーロッパ文化)(156)は前年度大幅減少の反動で50%以上の大幅増加。(文化史)(150)は3年連続減少の反動で大幅増加。
- 法(186)は、3年連続減少の反動で激増。志願者数は3年ぶりに2,000人を上回った。方式別では、全ての方式で大幅増加。特に、〈共テ・前期B方式3教科型〉(196)、〈共テ・前期B方式4教科型〉(161)は激増。
- 経済(77)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(経済)(53)は前年度の微減に引き続き40%以上の大幅減少。一方で、(経営)(102)は前年度大幅減少の反動で微増。
- 社会イノベーション(160)は、激増で2年連続増加。学科別では、2学科とも大幅増加。(政策イノベーション)(193)は2年連続減少の反動で激増。(心理社会)(142)は前年度に引き続き大幅増加で、2年連続大幅増加。